

## 「この日の礼拝」復活節第6主日(5月17日 典礼色:白)

---

### ■ 賛美唱 ☆詩編 66:8-20

諸国の民よ、我らの神を祝し、

賛美の歌声を響かせよ。

神は我らの魂に命を得させてくださる。

我らの足がよろめくのを許されない。

神よ、あなたは我らを試みられた。

銀を火で練るように我らを試された。

あなたは我らを網に追い込み、我らの腰に枷をはめ、

人が我らを駆り立てることを許された。

我らは火の中、水の中を通ったが、

あなたは我らを導き出して豊かな所に置かれた。

わたしは献げ物を携えて神殿に入り、

満願の献げ物をささげます。

わたしが苦難の中で唇を開き、この口をもって誓ったように、

肥えた獣をささげ、香りと共に雄羊を、

雄山羊と共に雄牛を焼き尽くしてささげます。

神を畏れる人は皆、聞くがよい。

わたしに成し遂げてくださったことを物語ろう。

神に向かってわたしの口は声をあげ、

わたしは舌をもってあがめます。

わたしが心に悪事を見ているなら、

主は聞いてくださらないでしょう。

しかし、神はわたしの祈る声に耳を傾け、

聞き入れてくださいました。

神をたたえよ。

神はわたしの祈りを退けることなく、慈しみを拒まれませんでした。

### ■ 主日の祈り

永遠に生きておられる全能の神様。あなたは天と地のすべてを一つに結び付けてくださいます。豊かな憐れみによって、あなたのすべての子どもたちの祈りを聞き入れ、全世界に真理と平和の聖霊を授けてください。あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。アーメン

■第2朗読 1ペトロ 3:13～22(新432)

■福音書 ヨハネ 14:15～21(新197)

■讃美歌 190番(主のみ名によりて)

1. 主のみ名によりて 集うところに  
主はともにいまし なかに立ちたもう。  
いまなお主イエスは われらの閉ざせる  
戸のなかに在す。
2. 主イエスはわれらを つねにかえりみ  
終わりのときまで ともにいまして、  
みことばによりて われらの心に  
平和をたもう。

■説教「汝を残して孤児とはせず」

■今週の感謝と祈り

- + わたしたちが自分自身の弱さに気づき、その弱さを和を受け入れて下さる復活の主に感謝して日々を過ごすことが出来るように。
- + 礼拝動画の配信という新しいチャレンジに取り組んでいる教会の働きが祝福され、より多くの人たちにみ言葉を伝える器として用いて下さるように。
- + 仕事を失う恐れ、身近に感染がひろがる恐れ、家計が破綻する恐れ、いろいろな恐れに囚われがちなわたしたちが、地道に自分に出来ることに取り組み、神さまに委ねて落ちついて生活していくことが出来るように。
- + 病や苦しみ、孤独の中にある方々を覚え、わたしたちがともに支えあってあゆむことができるように。

■讃美歌 289番1.3節(すべての人に)

1. すべてのひとに 宣べつたえよ  
神のたまえる よき知らせを。  
父なる神は み子をくだし  
救いのみちを ひらきませり。
3. 十字架のうえに 死にたまえる  
み子こそ永久の 救いなれば。  
神のたまえる この知らせを  
地の果てまでも 告げひろめよ。